えひめアビリンピック2025
ビルクリーニング競技課題

◎一般的な注意事項

＜共通＞

1　課題は、課題１「カーペット床清掃」と課題２「弾性床清掃及び机上清掃」の２課題です。

課題１終了後にカーペットを取り除き、課題２を行います。

2　どちらの課題も、作業面積は、１６㎡（４×４m）とし、幅木による区画とし、幅木の上には、壁があるものとして作業を行ってください。

3　作業場所にある机は、移動させないでください。

4　２課題とも次の規程時間が定められています。

①　課題１…７分で打ち切り　　②　課題２…１０分で打ち切り

なお、両課題とも残り時間が次の時間になったところでアナウンスします。

①　課題１…２分　　②　課題２…３分

また、規定時間を超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった選手は、競技専門委員の指示に従ってください。

5　各課題とも作業開始の指示は競技専門委員が行います。選手は、挙手または「はじめます」と申告してスタートしてください。競技が終了したら挙手または「終わりました」と申告してください。

また、作業ごとの入退出を行う際には、会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。競技中、上記以外の声は出さないでください。

※始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。

6　課題においてイスを机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。

7　作業終了後に競技時間を発表します。２コートの両選手が終了した段階で発表しますので、先に作業を終了した選手は、スタートラインに戻りそのまま待機してください。

8　両競技では、支給された資機材以外は使用できません。

9　使用した資機材は、競技専門委員の指示に従って後片付けを行ってください。

10　競技の採点は、作業準備・作業動作（手順）・仕様誤り・作業態度・作業時間の５つの面から審査し、加点方式により行います。

11　選手は、本競技に適した服装をしてください。

<課題１　カーペット床清掃>

1　床の材質は、繊維系の床面とします。

2　作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。

3　床のごみは、「ゼオライト」とし、５ｇ程度まいたものとします。

※競技で使用するポット型掃除機は、掃除機のノズル（ブラシ）の部分から空気の流れを利用してごみを吸引し空気を排気します。

<課題２　弾性床清掃及び机上清掃>

1　床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。

2　作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。

3　本課題で使用する資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてありますので、不足なものがないか点検し使用してください。

4　モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに選手自身で調節してください。

5　乾式モップ用のクロスは、選手が作業前に乾式モップヘッドに取付けてください。

6　クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。

7　床のごみは、「おがくず」とし、50ml 程度をまいたものとします。

※両課題ともごみの量は 50ml 程度を使用しますが、コート全体にごみがあるものと考え競技を行ってください。

【資機材一覧】

１．競技会場に準備されているもの

（１）課題１

品名	寸法又は規格	数量
作業表示板		１個
真空掃除機	ポット型　リンレイＲＤエコ２型	１台
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	１台
イス	パイプ式折りたたみ	１脚
ごみ箱	角型	１個

（２）課題２

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	１台
作業表示板		１個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	１本
ラーグ（モップ房）	２６０ｇ白色	１個
小型ぼうき	３０㎝幅用	１本
乾式モップヘッド	６３㎝	１個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	１個
タオル	無地　水拭き用　（青色）　１枚 無地　から拭き用（白色）　１枚	２枚
ダスタークロス	６９㎝幅の不織布	１枚
ビニール袋	ごみ箱用替袋	１枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	１台
イス	パイプ式折りたたみ	１脚
ごみ箱	角型	１個

２．選手が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
作業着（上・下）		１着
作業帽又は三角巾		１個
作業靴		１足

※持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題１　カーペット床清掃（作業時間：７分）

作業仕様（課題１）

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	・作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。 ・真空掃除機には、ウォンドと吸込口がセットしてある。 ・作業表示板は既に所定の位置に立ててある。	・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 ・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	・吸込口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
除塵作業 （真空掃除機）	①真空掃除機を使用し、外から入口を除塵し、入室する。 ②室内での作業手順は、カーペット床作業手順（11 ページ）のとおり行う。 ③ごみ箱は、持ち上げて除塵する。 ④前進しながら除塵する。 ⑤作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	・入口のごみを踏まないように広めに足場を確保する。 ・吸込口を床に強く押しつけない。 ・イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。 ・掃除機本体は、手で持って移動する。 ・プラグを持って抜く。	ごみは、ゼオライトを５ｇ程度まいてある。 ごみ箱やイスは両手で持って移動する。その際、掃除機の電源を切ること。 掃除機のコードを持って抜かない。

点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の戻し忘れ、ごみの取り残しがないか点検する。	声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼して退室する。	
資機材の片付け	真空掃除機のコードを巻き、真空掃除機を保管場所に戻す。		始めの位置に戻すこと。 位置が正しいか縦横両方向から確認する。
終了の挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

課題２　弾性床清掃及び机上清掃（作業時間：１０分）

作業仕様（課題２－１）

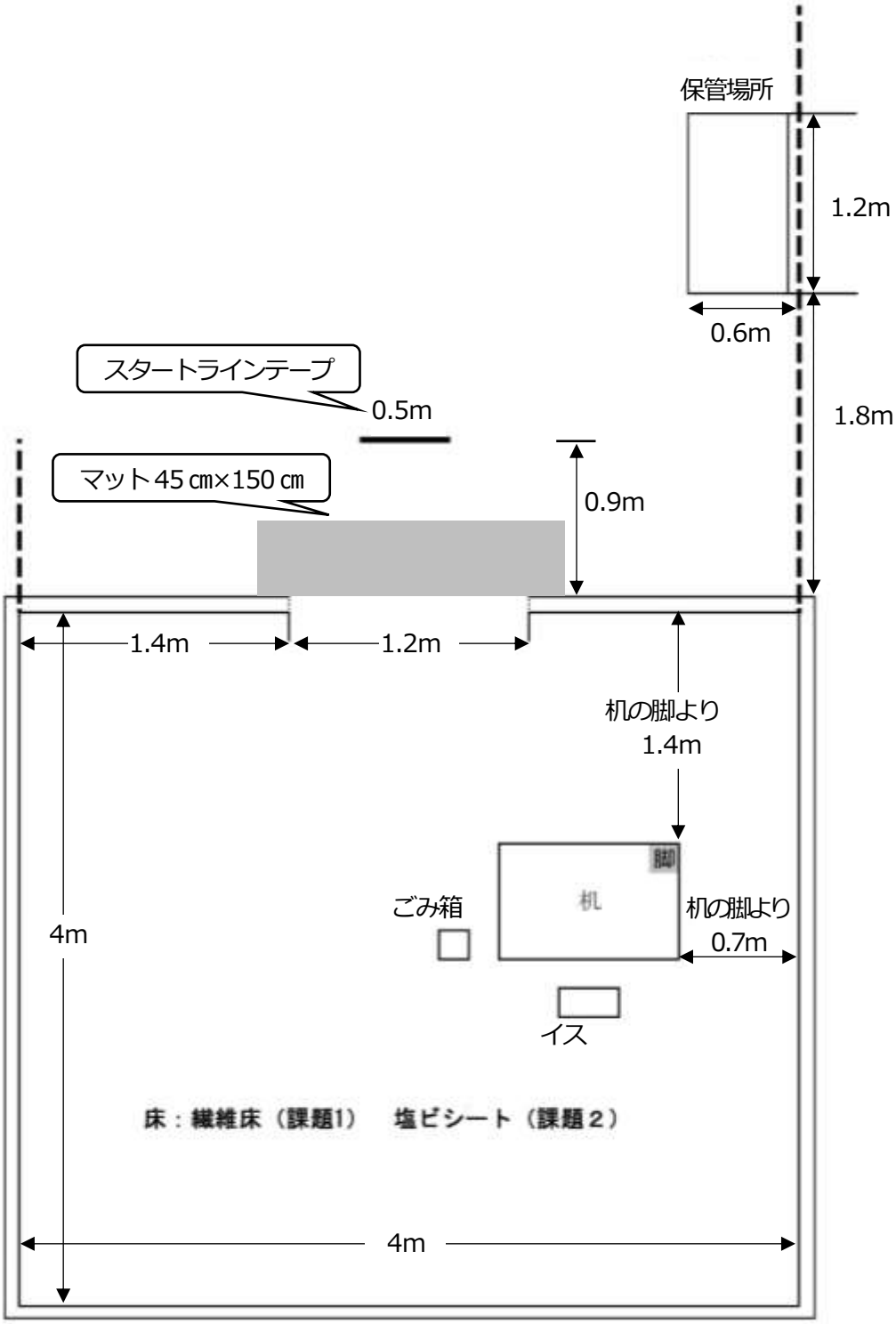
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	・作業に必要な資機材（タオル・モップ等）は、すでに作業カート（以下カート）上部に準備されている。 ①ワンタッチモップ柄（以下柄）の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッド（以下ヘッド）に装着し、カート上部に置く。	・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 ・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技専門委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	カートを保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業表示板を立てる。		
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
イス上げとごみ処理 （1）イスを上げる （2）ごみの回収 （3）ごみ袋のセット	①作業前にイスを机の上に上げる ②ごみ箱にセットされているビニール袋を回収する。 ③回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。 ④ビニール袋の替袋を取り出し、ごみ箱にセットする。 ⑤ごみ箱を机上に上げる。	・机は動かさない ・イスは机からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ごみ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。	

除塵作業 （乾式モップ）	①ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。 ②乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。 ③室内での作業手順は、乾式モップ作業手順（１２ページ）のとおり行う。 ④ごみは前進しながら出口に向かって１箇所に集める。 ⑤ヘッドを柄から外す。 ⑥使用済みのダスタークロスをヘッドから外し、カートの袋の中に収納する。 ⑦柄とヘッドをカートに戻す。 ⑧小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたごみを回収する。 ⑨ごみの取り残しがないか点検する。 ⑩小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。	・柄の先端には親指を添える。 ・ヘッドの辺は広い方を先行させる。 ・入口のごみを踏まないように足場を確保する。 ・ヘッドは、床から離さない。 ・使用済みのダスタークロスはカートの袋の中に入れる。 ・ごみの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。 ・ヘッドは、カート上部に、スポンジ面を上にして、邪魔にならないように置く。	ごみは、おがくずを 50ml 程度均等にまいてある。 点検の際に声を出さないこと。

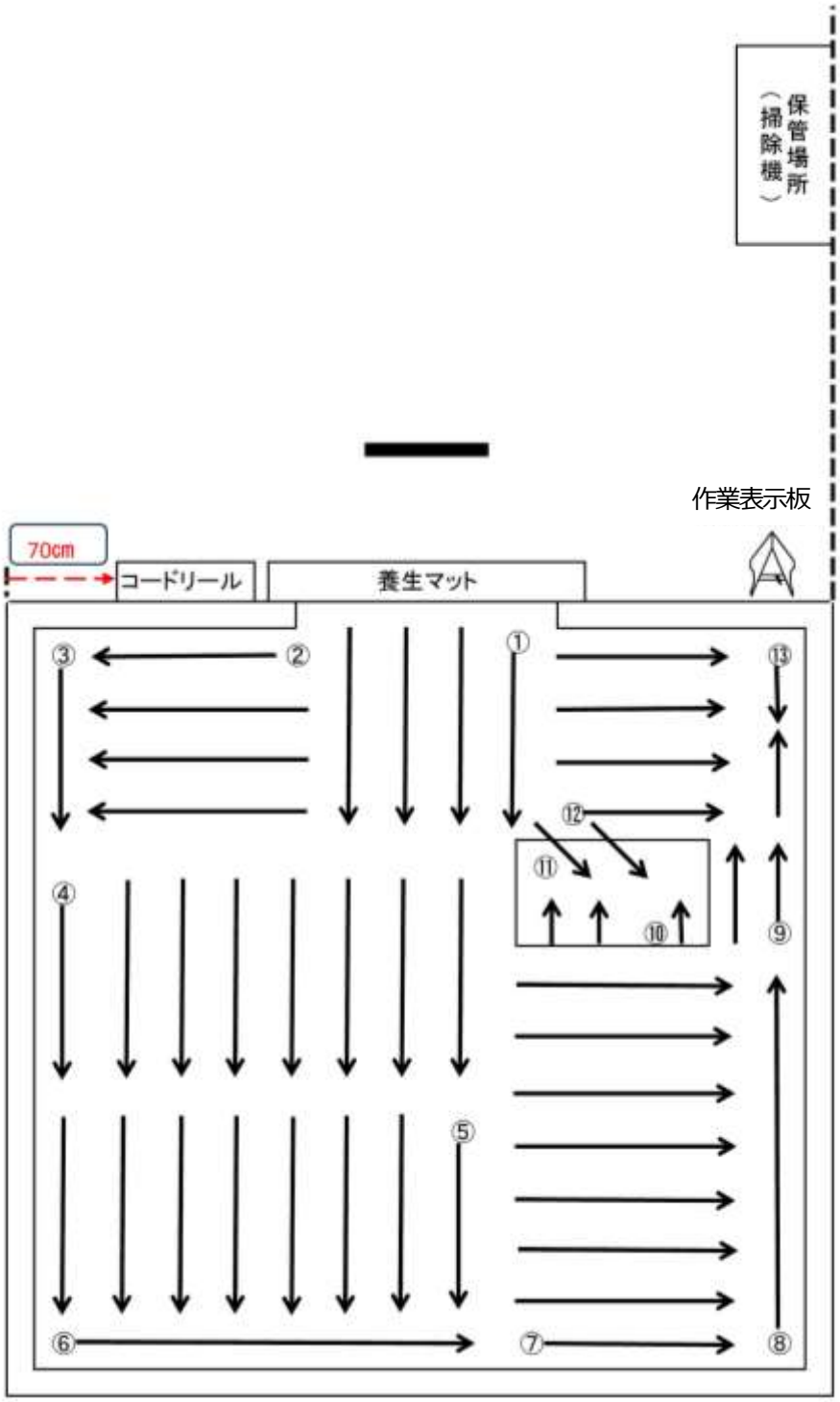
作業仕様（課題２－2）

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き作業 （モップ）	①コート全体を拭く。 ②室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順（１３ページ）のとおり行う。 ③コーナー周りと机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・柄の先端には親指を添える。 ・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	
ごみ箱とイス下ろし	安全に音を立てないように下ろす。	・足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルでから拭きを行う。	・タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。 ・横拭き・縦拭きを行う。	
点検	指差し又は目視点検を行う。	・資機材の戻し忘れ、ごみの取り残し等の点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼して退室する。	
資機材の片付け	作業表示板をカートに収納し、カートを保管場所に戻す。		始めの位置に戻すこと。 位置が正しいか縦横両方向から確認する。
終了の挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

標準配置図（モデル）

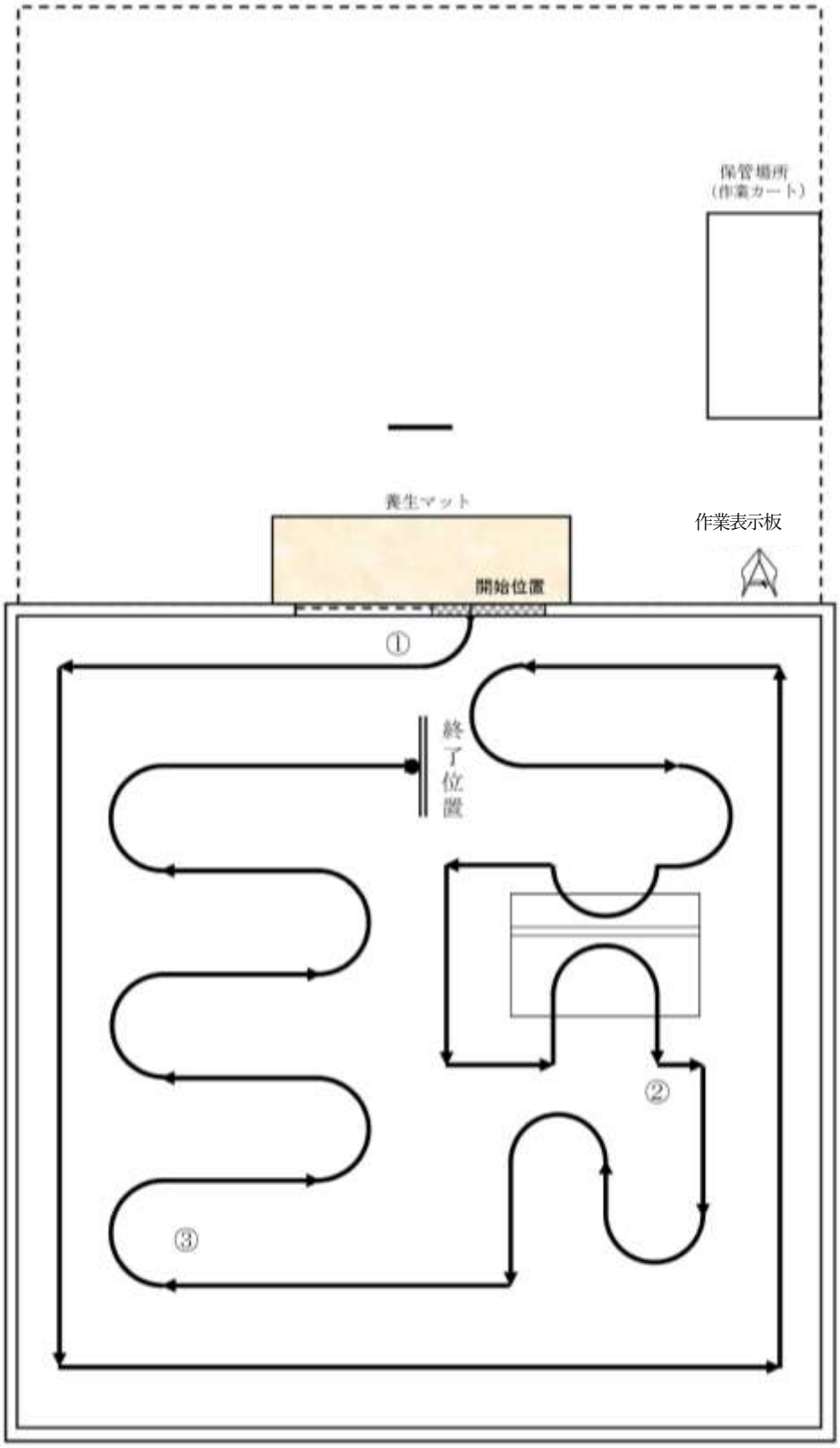

保管場所
1.2m
0.6m
1.8m
スタートラインテープ
0.5m
マット45㎝×150㎝
0.9m
1.4m
1.2m
机の脚より
1.4m
脚
机
ごみ箱
机の脚より
0.7m
4m
イス
床：繊維床（課題1）　塩ビシート（課題２）
4m

カーペット床作業手順



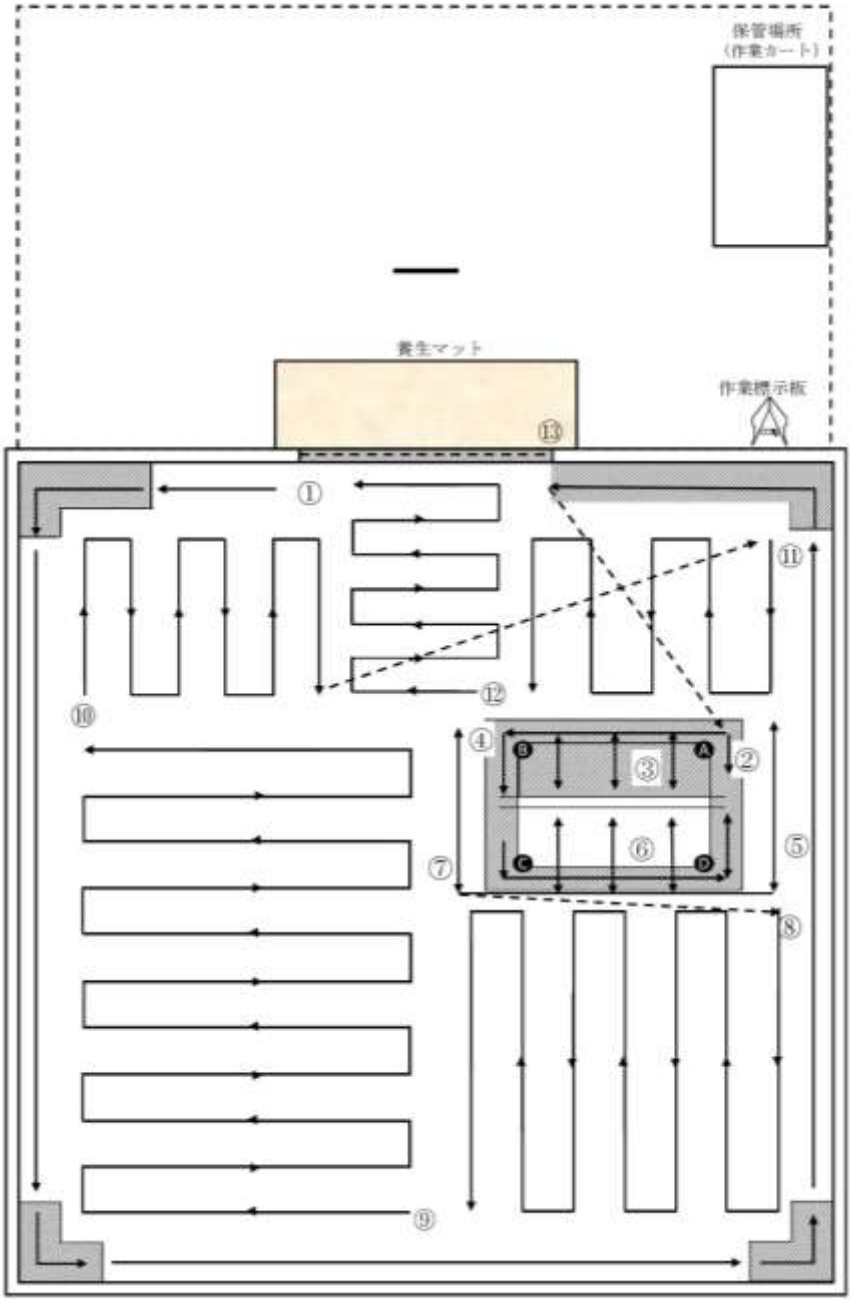
注：作業の進行は①～⑬、吸引回数を入れたものではありません。

乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドを振る回数ではありません。

水拭きモップ作業手順



注： ▨ 印は手を添える箇所を示す。水拭き回数を入れたものではありません。

① 幅木側を１周すること（コーナーは手を添える）

② Ａの脚周りを手を添えて拭く

③ 机の下を手を添えて拭く

④ Ｂ脚、Ｃ脚、Ｄ脚の順に脚周りを手を添えて拭く

⑤ 机の脇（壁側）を拭く

⑥ 机の下を手を添えずに拭く

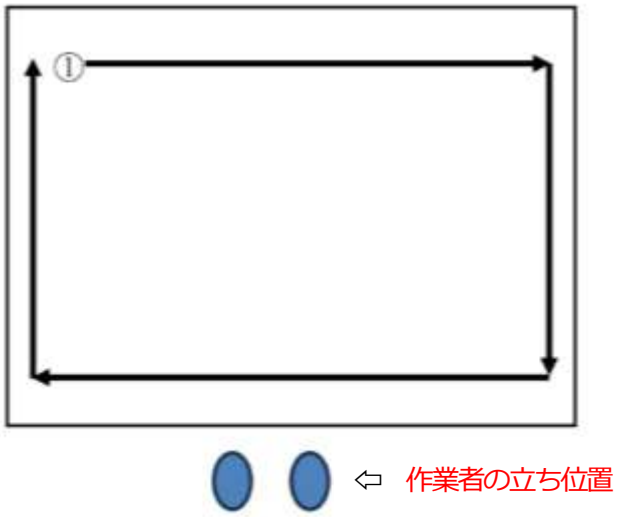
⑦ 机の脇（入口側）を拭く

⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く

⑬ 入口は手を添えて拭く

机上拭き作業手順

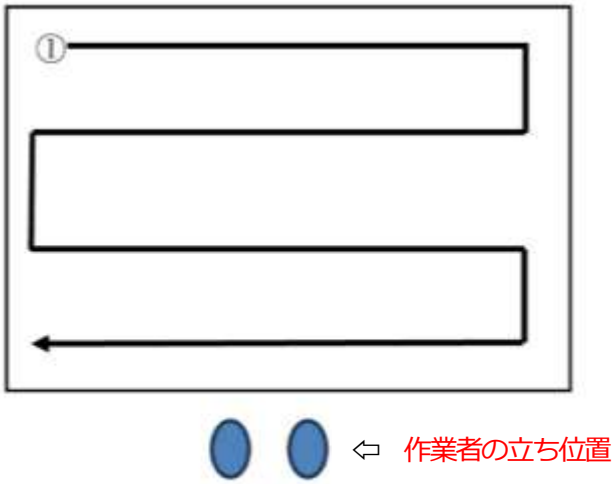
注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆とした方法でも構いません。



縁（机の４辺）の拭き方

※選手は競技専門委員に正対し動線図に示された場所に立つ。（縦拭き・横拭きも同様）

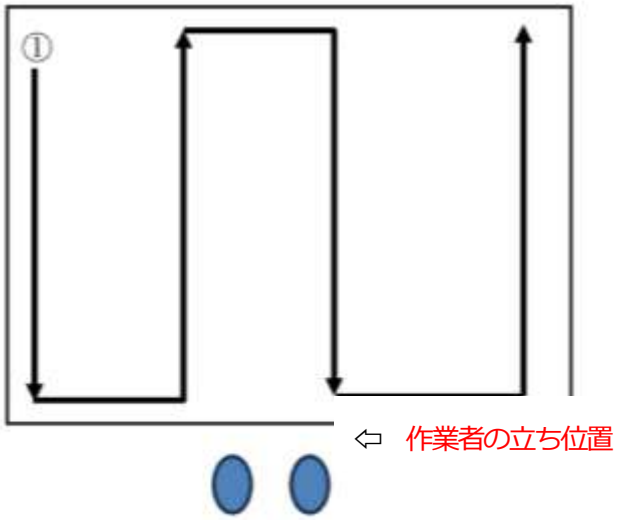
①四角く、縁にそって拭く。
（その際、机の縁も拭く。）



中央の拭き方

②横拭き：拭いていない中面を左右に拭く。
（このとき、拭きムラの無いように注意する。
また、左右の動きにより、往復の回数が異なる。）

※適宜タオルの面を変えながら拭く。



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭く。
（このとき、拭きムラの無いように注意する。
また、上下の動きにより往復回数は異なる。）

④から拭きも同じように行う。

※適宜タオルの面を変えながら拭く。